

# 「大分市過疎地域自立促進計画(案)」 に関する意見の要旨とそれに対する本市の考え方

平成28年1月15日から平成28年2月15日にかけて実施しました「大分市過疎地域自立促進計画」(案)に関する意見募集において、市民の皆様から貴重なご意見をいただきありがとうございました。

本市の考え方をとりまとめましたので、お知らせします。

市民の皆様からいただきましたご意見については可能な限り反映させていきたいと考えています。

意見提出者 7人

意見件数 18件

## 1、基本的な事項

No.	意見の要旨	本市の考え方
1	各項目の実施事業は具体的にどのようなものがあるのか？また、実施方法は？	各項目の実施予定の事業については、地域ごとに事業計画として記載しています。事業の実施にあたっては、毎年度実施計画を策定する中で、各事業の優先度を見極め、地域ごとの特性に応じた基本方針にそって計画の推進を図ってまいります。
2	計画(案)により向上する面もあると思うが、地域の課題解決が大切である。	過疎対策については、地域と行政が連携することで効果が上がると考えられますことから、今後も地域協議会等において、課題を共有し、地域ごとの特性に応じた基本方針にそって、解決に向け事業を実施してまいります。
3	地域は少子高齢化、人口減少が進行している。今後、地域活動の維持が心配だ。	過疎地域自立促進計画(平成22年度～平成27年度)に基づき、計画を進めてきた結果、人口減少率は鈍化してきましたが、過疎化は依然進行している状況となっていることから、引き続き地域ごとの特性に応じた基本方針にそって本計画を実施することにより、少子高齢化・人口減少対策に取り組んでまいります。
4	合併前から様々な取組を行ってきたにも拘らず、ますます過疎化が進んでいる。国の方針やこれまで取り組んできた施策の効果を検証する仕組みがあるのか。	過疎地域自立促進特別措置法が平成33年3月末まで延長されたことから、本計画を策定するものですが、取り組みについては、地域の代表者で構成される地域協議会に事業の進捗状況などを報告するなかで、それに対する意見を伺い、施策の検証を行ってまいります。

## 2、産業の振興

No.	意見の要旨	本市の考え方
1	雇用の場を創出して欲しい。	観光資源の活用や農林水産物等の地域資源を活用した新たな商品開発などの支援、既存企業の増設に対応する助成制度の拡充など、地域産業の活性化に努めるとともに、就労機会の拡大と雇用の確保に努めてまいります。

### 3、交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進

No.	意見の要旨	本市の考え方
1	通勤、通学の時間帯にバスと電車の接続がうまくいくようなダイヤ改正を検討して欲しい。	各公共交通機関の連動など、運用に関しては、「交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進」に位置付けるなか、通学、通勤者などの交通の利便性を確保するため、各関係機関に働きかけてまいります。
2	高齢者と同じように学生にもバス料金の補助をして欲しい。	「交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進」に位置付けるなか、高齢者や通学、通勤者などの交通の利便性を確保する観点から、検討してまいります。
3	バスの便を増やして欲しい。	

### 4、生活環境の整備

No.	意見の要旨	本市の考え方
1	汲み取りの際の臭気改善を検討して欲しい。	生活環境の保全と浄化槽の普及促進という観点から検討してまいります。
2	JR幸崎駅周辺を再開発し、大型スーパー等の誘致、住宅地や大規模公園等の整備を行うことで雇用の場の創出、定住、集客が期待できるのではないかと。	幸崎駅周辺の整備については、駅などの施設を利用する市民のほか、近隣住民の理解など多くの課題が考えられます。今後も引き続き、「生活環境の整備」に位置付けるなか、居住環境の向上や若者の定住を目指し、国、県等の施策と調整を行いながら、総合的に検討してまいります。
3	市営住宅の入居条件を緩和して欲しい。	市営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としています。 過疎地域に限定した入居条件の緩和については、真に住宅に困窮する低額所得者の入居を妨げない範囲で、市営住宅の応募状況や他都市の状況等を見極めながら、検討するとともに若者の定住を目指し、良質で快適な住宅の供給に努めます。
4	新たな雇用の場もなく、若い世代の移住も難しいと思う。空家対策と併せ、農地として整備されていない田、畑を活用し、「自給自足」の生活を希望する団塊の世代に向け、居住地域として、アピールするのが良いのではないかと。	自給自足などのスローライフは、都市部に居住している方々に対して訴求できる魅力的なライフスタイルであることから、団塊の世代や若者の定住を目指し、良質で快適な居住環境の向上という観点から検討してまいります。

## 5、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

No.	意見の要旨	本市の考え方
1	高齢者が集い楽しむような場所や機会をつくって欲しい。	地域ボランティア組織や老人クラブ等、関係機関との連携のもと、生きがいと健康づくりのための地域福祉ネットワークの拡充に努めてまいります。

## 7、教育の振興

No.	意見の要旨	本市の考え方
1	学校を小中一貫教育の進学校に整備すれば、佐賀関地域以外からの移住者が増えるのではないか。	子どもたち一人一人に確かな学力を身に付けさせることは大変重要であり、併せて、義務教育におきましては、健やかな体と豊かな心をバランスよくはぐくむことが大切であると考えております。 佐賀関中学校区、神崎中学校区におきましては、平成23年度から小中一貫教育のモデル校として、小中学校9年間を見通した系統的な教育活動に取り組んでおり、今後とも、地域の自然や文化、歴史などの特色を生かし、学校の魅力づくりを推進してまいりたいと考えております。
2	佐賀関小学校の児童数が減少していることから、志生木地区からも通学出来るようにして欲しい。	大志生木小学校は平成28年度からこうざき小学校に統合されることとなります。佐賀関小学校へは、学区外就学の要件に該当するか、入学時に隣接校選択制を利用することにより、現在でも通学が可能となっています。
3	佐賀関幼稚園と佐賀関保育所を統合し、市立こども園にしてはどうか。	幼保連携型認定こども園については、保護者の就労の有無にかかわらず、保育を必要とする児童と幼児教育のみを希望する児童と一緒に園で生活できる施設であり、地域の就学前児童が小学校入学前から一堂に会し、児童同士が関わりを持つことは児童の社会的な発達を促す点においてもメリットがあると考えられます。 このようなことから、「幼児教育の充実した環境づくり」や「子ども子育て支援」という観点から検討してまいります。

## 8、地域文化の振興等

No.	意見の要旨	本市の考え方
1	民謡の全国大会などを開催し、後継者の育成をしてはどうか。	「地域文化の振興等」にも記載しているとおり、地域文化の活力をはぐくむため、伝統芸能等の活動を継承するとともに、後継者の育成を支援してまいります。
2	指定文化財の早吸日女神社等を、もっと県外に向け情報発信して欲しい。	早吸日女神社には大分県指定有形文化財「本殿」「総門」など江戸時代に建てられた歴史的な建造物が残されておりますことから、「地域文化の振興等」に位置付けるなか、今後も保護、保存に努めてまいります。これまでもパンフレットやホームページにより情報発信を行っておりますが、よりいっそうの内容の充実と改善を図ってまいります。